こどもの健やかな成長を

看護師 募集案内

はぐくむ看護

あいち小児保健医療総合センター

看護部理念

未来ある子どもの生命と人権をまもり、一人一人のQOLの向上をめざした看護をします

看護部基本方針

1. 子どもの尊い命を守り、愛情をもって接します。
2. 子どもや親〈家族〉にQOLの向上をめざした看護を提供します。
3. 子どもと家族が自ら決定できるように援助します。
4. 子どもの療養環境を整え、年齢・発達段階に応じた援助をします。
5. よりよい治療・看護を提供するために、保健・学校・福祉関連部門との連携を強めます。
6. 専門職業人として主体的に学びます。
7. 質の高い看護を提供するために看護実践能力の向上に努めます。

施設概要

病床数　8病棟　200床

主な診療科　総合診療科、救急科、集中治療科、麻酔科、アレルギー科、腎臓科、感染免疫科（感染症科、予防診療科）、内分泌代謝科、神経科、小児外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、脳神経外科、心療科、循環器科、心臓外科、耳鼻いんこう科、眼科、歯科口腔外科、放射線科、皮膚科、産科、新生児科

看護配置基準　7：1

施設・設備

	本館	救急棟
BIF	大会議室　研修室　学習室 栄養指導室　保健部門　運動療法室	機械室　中央材料室　物品管理センター 更衣室等
IF	外来　薬局　図書室 子ども事故予防ハウス　放射線検査 臨床検査　特別支援学校連絡通路	小児救命救急センター　外来診療室 放射線検査室（CT等を整備） 売店
2F	21病棟　22病棟　23病棟 新生児ICU（NICU）　20病棟	手術室（7室）　PACU（麻酔回復室）
3F	管理部門　わくわくるーむ　31病棟 32病棟　家族控室	小児ICU（PICU）

その他　どんぐりハウス

屋上　ヘリポート（ドクターヘリによる患者搬送への対応）
自家発電機

関連施設　愛知県立大府特別支援学校との連携

当センターでは隣接する愛知県立大府特別支援学校と連携しており、通学・院内学級・ベッドサイドでの学習が可能。退院と同時に地元の学校に支障なく戻れるように、入院治療しながら教育を受けることができます。児童に合わせた教育を選択できるため、長期入院にも対応。支援学校教員とは常に連携を図り、情報を共有しています。

あいち小児センターの役割

子どもの健康問題は、不登校など心の病気の増加をはじめ、複雑多様化しています。
一方、小児医療は、治療とともに一貫した相談や訓練、生活実践指導等保健分野に関連する疾患など、既存の医療機関では対応が十分に出来ていません。
あいち小児保健医療総合センターは、保健部門と医療部門を併せもち、両部門が有機的に連携することで、健康や発達の問題を抱える子どもに対して総合的に問題解決を図るための疾病予防から医療、リハビリまでの一貫した包括ケアを行うことを目的とした施設です。

医療部門
あいち小児保健医療総合センター
保健部門

保健部門

看護部門や地域の関係機関と連携し、妊娠・周産期から在宅療養まで、子育てや家族の生活を支援しています。

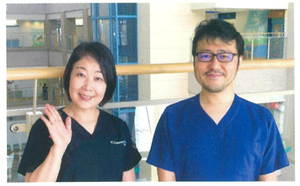
センター長

療養環境と保健予防活動を大切に、子どもに届く高度急性期医療を実現するために、是非一緒に働きましょう。

チーム活動

❶感染対策チーム（ICT）

患者さんだけでなく、センター内で働く皆さんに「清潔な手と医療環境」を提供し、感染から守るために活動しています。



❷医療安全管理室

医療安全管理室は室長1名、室長補佐1名ですが、センター職員が一丸となり医療安全に取り組んでいます。

保健と医療の両面から、子どもと家族の幸せな未来の成就をめざします。

病院で働くすべてのスタッフが協力し合い、子ども達を支えています。

看護部

辛い治療を頑張る子ども達が笑顔で過ごせるように、家族を含めたチームで知恵を出し合っています。一緒に考えていきませんか？

こども・家族医療サポート室

退院調整看護師とソーシャルワーカーが、患者さんに寄り添いながら退院調整や社会資源の調整を行っています。

心療科

心療科の医師、心理士は入院児やご家族のお話を聴き、多職種と連携して心理面のサポートを担っています。

保育士

私たちは、病棟保育・外来保育を担う保育士・HPS（ホスピタル・プレイ・スペシャリスト）です。チーム医療の一員として、療養環境の充実を担っています。

22病棟

5科の外科混合病棟です。主に手術を受ける子ども達が入院しています。病棟内は『森』をイメージ。明るく楽しい雰囲気の中で常に笑顔の花を咲かせ、安心して入院生活を送れるよう取り組んでいます。

23病棟

23病棟は、救急科、総合診療科、感染科、眼科、整形外科の混合病棟です。入院している子ども達は、病気や年齢も様々ですが、1人1人に寄り添う気持ちを忘れずに笑顔で看護を行っています。また徹底した感染対策で、患者さんや自分たちを感染から守っています。

31病棟

慢性疾患を中心とした4科の内科病棟です。退院後も内服や点滴などの治療を継続する子どもが多く、成人移行支援も踏まえて保育士や医師と協働して子どもの成長や発達に合わせた内服指導や病気の説明を行っています。長期入院も多く、きょうだい支援も力を入れています。

32病棟

脳神経外科、神経内科、整形外科の混合病棟です。手術後の急性期や慢性期の子どもに病状や年齢、個性に合わせた看護を行っています。また、医療的ケアが必要な子どもと家族に退院後の生活を踏まえた指導を行うため、保育士、PT、OT、心理士、保健師など他職種と連携し、子どもや家族に寄り添った指導に心掛けています。

専門外来

病気と共に育つ子どもとその家族の支援を、院内外のネットワークを活用して、多職種と連携しながら継続看護を実践しています。子ども達の成長を見守り、寄り添う看護を目指しています。

子ども達も、働くスタッフも笑顔 になる施設の数々。

全国で10番目、中部地域では初めての小児救命救急センターに。これまで発展させてきた各専門家の特殊な知識や技術を発揮しながら、当センターでしかできない医療を提供し続けます。

救急外来

救急外来は令和2年4月から独立の部署となりました。東海三県に渡って緊急度・重症度の高い子ども達の救急医療のために貢献すべく日々努力しています。小児看護を基盤とした救急看護の充実を目指しています。

手術室

プロジェクションマッピング等により、子ども達が眠るまで笑顔で過ごせるよう工夫し、術後は回復室で安定した状態で部屋に戻れるまで様子をみます。手術室では、子どもと家族の不安を緩和できるようケアをしています。

20病棟（産科）

主に胎児異常を指摘された妊産婦を受け入れる施設です。産まれてから早期に手術や集中治療が必要となる赤ちゃんに対しては、出生前から関連診療各科と連携をとり治療計画をたてたうえで適切な治療が受けられるようチームでの治療を行います。

21病棟（小児心臓病センター）

循環器病センターとして、心臓外科、循環器科のこども達が入院する病棟です。小児用補助人工心臓治療も開始し、小児循環器の最先端治療と看護を実践しています。入院時から退院を見据え多職種と連携した患者・家族指導を行い、安心して自宅に戻れるよう支援しています。

新生児ICU（NICU）

先天性の心疾患や小児外科疾患、脳神経外科疾患等の病気を抱えた新生児が入院しています。生まれたばかりの新生児が安定できるようきめ細やかなケアと、ご家族が新生児を受け入れ家族として発展できるよう多職種と協働しながら看護をしています。

小児ICU（PICU）

重症度が高く、全身管理を必要とする子ども達が入院しています。集中治療医と共に子ども達の一日も早い回復を願い、治療・看護ケアを実施しています。緊張する場面も多い部署ですが、みんな支え合い、お互いを高めていくことのできる病棟を目指しています。

小児専門病院の看護師になるためのきめこまやかな 教育で、キャリアアップを支援します

教育方針

- あいち小児保健医療総合センターの設置理念(センター憲章・センター基本方針)に基づき、社会人・専門職業人として責任ある行動がとれる看護師を育成する。
- 小児専門病院の看護師として、主体的に自律した看護実践ができる看護師を育成する。
- 専門職業人としての能力を継続して持ち続ける努力ができる看護師を育成する。

育成目標

- 小児看護領域の専門知識・技術を習得し、個別の看護実践ができる看護師を育成する。
- 子どもを一人の人間として尊重する看護師を育成する。
- チーム医療を推進する中で看護の主体性を主張できる看護師を育成する。
- 専門職として自ら看護を高めるために研修会・学会等で発表できる看護師を育成する。

クリニカル・ラダー

ラダーレベルⅤ	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する	
ラダーレベルⅣ	幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する	小児と家族の看護／師長・副師長研修
ラダーレベルⅢ	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	家族看護Ⅲ／小児看護Ⅲ／看護管理応用研修／教育担当者研修
ラダーレベルⅡ	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	家族看護Ⅱ／小児看護Ⅱ／救急看護Ⅱ／看護管理基礎研修／リーダー研修／臨地実習指導者研修／実地指導者導入研修・フォローアップ研修
ラダーレベルⅠ	基本的な看護手順に従い、助言を得て看護を実践する	新人入職時研修／専門領域研修／看護理論(カリスタ・ロイ)／看護技術研修／メンバーシップ研修／看護研究研修(基礎)／家族看護Ⅰ／小児看護Ⅰ／救急看護Ⅰ／ステップアップ研修

教育体制

職場での学び(OJT)　職場を離れた学び(Off-JT)

全ての教育過程における責任者	研修責任者
	看護師長
各部署の新人看護師研修の企画・運営を担当	教育担当者
新人看護師の個別性に合わせた教育計画の調整	実地指導者　実地指導者
	新人　新人　新人
身近な相談相手	サポーター　サポーター　サポーター

一人ひとりの思い、やりがいが医療を支えています

31病棟

3年目看護師

内科病棟で勤務しています。特に慢性疾患患者さんが多いため、長期的な治療を必要としている子どもの看護を行うことが多いですが、急性期看護を行うこともありさまざまな看護を学ぶことができます。また、退院後も定期的な入院を行う子ども達も多く、子ども達の成長を感じられることもやりがいの1つです。スタッフ同士で日々の看護について相談がしやすく、とても働きやすい病棟です。ぜひ一緒に働きませんか。

32病棟

ママさん看護師

小児センターでは、子どもが就学前まで『育児短時間制度』を利用して働くことができます。それぞれのワークライフバランスに合わせて、勤務形態を選択して働いています。復帰当初は子育てと仕事の両立に不安でしたが、スタッフのみなさんにサポートしてもらいながら、少しずつ仕事に慣れることができました。この制度を利用することで、子どもたちとの時間をつくりながら両立して働くことができています。

手術室

3年目看護師

手術室は緊張感のある職場ではありますが、3年目になりさまざまな手術を受け持ち、やりがいが増えてきました。手術室では看護師だけではなく麻酔科医、各診療科の医師、臨床工学技士など他職種と連携し、チームとして安全に手術が進行することを目指し日々の看護を実践しています。そして、手術で不安を抱える患者や家族に寄り添い、少しでも安心してもらえるような看護を大切にしていきたいです。

NICU

新生児集中ケア認定看護師

小児センターに就職して7年目に職場からの支援を得て認定看護師教育課程を受講しました。現在は新生児集中ケア認定看護師としてNICUを中心に活動し、小児センターに入院された全ての新生児がその子にとってふさわしい環境で適切なケアを受けられるよう、専門看護師や他分野の認定看護師とも協働してセンター全体の看護の質向上に努めています。

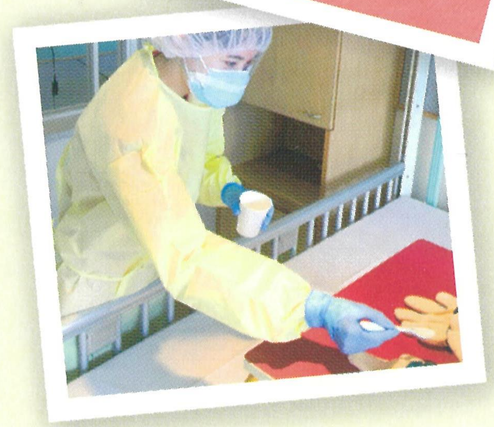
22病棟

10年目看護師

在宅療養が必要な患者さんは、長期的に関わることも多く、ご家族と一緒に子ども達の成長を見守っていけることが小児看護の一番の魅力であり、成長に合わせたサポートができることにとてもやりがいを感じています。病気を持ちながらも明るく元気に過ごす子ども達との関わりの中で、自分自身も興味を持てる分野が見つかり、病院からのサポートを受けながら次のステップを目指しています。

あいち小児センターでは他にも多くの専門・認定看護師が活躍しています!

- 小児看護専門看護師
- 家族支援専門看護師
- 皮膚・排泄ケア認定看護師
- 新生児集中ケア認定看護師
- 認定看護管理者
- 小児救急看護認定看護師
- 感染管理認定看護師



交通機関をご利用の場合

JR名古屋駅→JR大府駅(約12～20分)、
JR岡崎駅→JR大府駅(約15～20分)、
JR大府駅西口から知多バス
「あいち小児センター」下車すぐ(約10分)

自動車をご利用の場合（駐車場無料）

名古屋市の中心部より自動車で約30分
(名古屋高速→知多半島道路経由)

入院患児・家族専用の宿泊施設
どんぐりハウス

マロンのおうち
（院内保育所）

あいち小児保健医療総合センター

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

TEL.0562-43-0500（代表）
FAX.0562-43-0513

https://www.achmc.pref.aichi.jp

病院HP　求人について